

小学校第2学年 生活科学習指導案

単元名：「あしたへジャンプ」～2こ2こステップ1・2・3！～

指導者 熊野町立熊野第一小学校 佃 美紗子

- 1 日 時 令和4年2月4日（金）5校時
 2 場 所 2年2組教室
 3 学年・学級 第2学年2組（30名 男子15名 女子15名）



単元について

本単元は、小学校学習指導要領解説編生活科の内容（9）「自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分のできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。」を受けて設定した単元である。

本単元では、自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分のできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするようにすることをねらいとしている。

これまでの表現作品などを手掛かりに、過去と現在の自分を比較しながら、自分の成長について振り返ったり、調べたことをつなぎ合わせたりする中で、自分のできるようになったことや、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長にも気付くことができるようにする。周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、周囲の人々に感謝の気持ちを伝える中で、自分はたくさんの人に支えられて成長していることに気づき、3年生でも意欲的に願いをもって生活しようとするようにする。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度と本年度、コロナ禍の影響もあり、例年通りの学校行事や他学年との交流があまりできていないことから、1年生との違いを自覚できていなかったり、高学年への感謝の気持ちをもていなかったりする児童が多い。また、自分のできるようになったことや、大きくなったことは自覚していても、家族や友達などたくさんの人々に成長を支えてもらっていることに気付いている児童は少ない。

算数科や漢字のテストなど、答えがはっきりとしているものに対しては、意欲的に答え、みんなの前で自信をもって発表できるが、国語科や特別の教科道徳で自分の感想を書いたり相手の気持ちを考えたりする場面になると、全く書けなかったり、書けていても発表できなかったりする児童がいる。グループ作りや活動の際には、それらの児童を優しく受け止めてあげられる児童や、グループ活動に積極的に取り組む児童を同じグループにするなどの配慮が必要である。

次に提示する表は、本学級で本単元導入前に行った生活科の学習に関する児童の意識調査アンケートの結果（令和4年1月14日実施/30名）である。

質問内容	肯定的回答（人）		否定的回答（人）	
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
① 生活科は好きですか？	28	2	0	0
② 友達と話し合い活動をするのは好きですか？	21	6	2	1
③ 振り返りをしたことを次の学習に生かそうとしていますか？	21	6	3	0

④ 友達の考えを大切にしながら学習することができていますか？	20	8	1	1
⑤ 自分のよいところが言えますか？	21	6	1	2

アンケートの結果から、①について30名全員が肯定的回答をしており、生活科の学習に対する関心が高いことが分かる。一方で、②～⑤の問いに対しては否定的回答をする児童が同程度おり、友達との関わり合いが苦手な児童や、自己肯定感の低い児童がいることが分かる。本単元を通して、友達との関わりも自分を成長させてくれるものであることに気付かせ、周りの人からも自分の「すてき」を見付けてもらうことで、自分のよいところを自信をもって言えるようにしていきたい。

単元の指導および協働的な学びの場の設定について

本単元のステップ1（指導と評価の計画を参照）の場面では、写真や記録カード、作品などの手がかりを基に、入学してからの出来事を振り返る。資料を時系列に沿って掲示し、「入学した頃は〇〇ができなかったけど、〇〇のときにできるようになった。」など、過去の自分との比較ができるようにする。そして、自分のよいところ、頑張っているところ、得意なこと、できるようになったこと、などの自分の「すてき」を見付けられるようにする。

ステップ2・ステップ3の場面では、友達との関わりを振り返り、互いの「すてき」を見付け合ったり、家の人にインタビューをしたりする中で気付いた自分の成長についてまとめていく。

ジャンプの場面では、周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを伝えるための計画を立てる。児童が自分で考え、決定できるように、「誰に」「成長した自分のどんな姿を」「どのように」伝えたいか話し合う場を設ける。

協働的な学びの場については、互いの良さを認め合ったり、表現方法の工夫を共有したりできるように、活動の中で隣同士やグループ内で交流する場を設ける。児童同士で気付きや思いを共有する中で、それらを言葉にし、自覚し、他者との関わりが自分自身の成長、また、友達の成長へつながっていることに気付かせたい。本時で作成するワークシートは本単元終了後にキャリアファイルへ綴じ、後に見返したときに自分の成長を実感できるようにする。

単元の目標と評価規準

【単元の目標】

- 自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができる。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
分かる・できる力	自分の考えを表現する力	協働する力	自分の成長に気付く力
自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付くことができる。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりして、表現することができる。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、児童同士で気付きを共有し、互いのよさを認め合うことができる。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができる。

指導と評価の計画

学習内容『あしたへジャンプ』（時数：20 時間）		主たる評価規準
一	<p>ステップ1 大きくなったね～自分の「すてき」見つけ～</p> <p>○大きくなった自分のことを振り返る。〔4〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や記録カード，作品などの手がかりを基に，入学してからの出来事をみんなで振り返る。（1） ・これまでにつくった表現作品やかきためてきた記録カードを見て，Yチャートを用いながらこれまでの成長を振り返り，自分の「すてき」を見付ける。「すてき」の概念について確認する。（2） ・前時にまとめたものを，グループや全体で紹介し合う。（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かる・できる力
二	<p>ステップ2 もっと自分の「すてき」を調べよう</p> <p>○大きくなった自分のことを調べる。〔4〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりを振り返り，互いのすてきなところを見付け，ワークシートに書いて互いの良さを認め合う。〔本時〕（1） ・お世話になった人や家の人などに，自分の成長についてインタビューする。（2） ・友達に書いてもらったワークシートやインタビューなどを手がかりに，過去の自分と比較し，自分の成長について話し合う。（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働する力 ・自分の成長に気付く力
三	<p>ステップ3 せいちょうしたことをまとめよう</p> <p>○自分のことをまとめる。〔5〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時まで調べたことを基に，どんな出来事をどんな方法でまとめるのか，決める。（1） ・資料や材料を集め，方法を工夫しながら，自分の成長をまとめる。（3） ・つくった作品を友達と紹介し合い，まとめたことを振り返る。（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働する力 ・自分の考えを表現する力
四	<p>ジャンプ 「ありがとう」をつたえよう</p> <p>○ありがとうの気持ちを伝える。〔7〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰にありがとうの気持ちを伝えたいかを話し合い，発表会の計画を立てる。（1） ・発表の準備をする。（3） ・発表会を開く。（2） ・発表会を振り返り，話し合う。（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長に気付く力 ・自分の考えを表現する力

本時の学習（5/20 時間）

本時の目標

友達との関わりを振り返る活動を通して，友達と互いのよさや頑張りを見付け，互いの良さを認め合うことができる。

（1）準備物

ワークシート・「いいところ見つけ」のカード（ヒントカード）

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 ◎支援を要する児童への手立て	評価規準 (評価方法)
1 問題を把握し、本時の課題を設定する。		
○前時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で、「自分にはすてきなところがある」と気付いたことを確認し、友達の「すてき」にも関心を高められるようにする。 ・「すてき」とは何か、を再確認する。 ◎後のグループ活動の際のヒントになるよう、前時まで確認している「すてき」の概念を板書に残しておく。	
2 めあてを設定する。		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【めあて】友だちの「すてき」をはっ見し、新しい自分の「すてき」に出会うことができる。 </div>		
○活動内容を伝え、めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの書き方について例を挙げながら説明する。 	
★3 協働的な学びの場		
○グループで、「○○さんのすてき」をワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをグループ内で順に回しながら、友達の「すてき」を書き込ませる。 ◎3・4人のグループを作り、1枚のワークシートに書き込んでいく形をとることで、なかなか気持ちを書けない児童も、友達の意見を見て参考にしたり、一人でたくさん書いたりしなくても良いようにする。 ◎2周目に入るときに、事前に行っていた「いいところ見つけ」のカードをヒントカードとして渡し、参考にできるようにする。	
○友達に書いてもらったワークシートを読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に「すてき」を書いてもらったワークシートをじっくり読むことで、自分では気付かなかった「すてき」を見付けられるようにする。 ・書いてもらう量が少ない児童がいた場合は、次時に書く時間をとることを伝える。（「すてき」探し名人を見付けておく。） 	
4 本時のまとめをする。		
○これからの学習について見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に見付けてもらった「すてき」を見つめ、自分のよさや頑張りに自信をもつとともに、友達と一緒に成長していることに気付かせ、もっと「すてき」を見付けたい！という意欲をもたせる。 	
5 本時の振り返りをする。		

○本時の振り返りをワークシートに書く。	・振り返りの観点を基に振り返りを書かせる。 <div data-bbox="598 210 986 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・考えたこと ・はじめと変わったこと ・友達から学んだこと </div>	○協働する力 友達のをよさを伝える楽しさ、自分のよさを伝えてもらううれしさが分かり、友達に見付けてもらった自分の「すてき」を振り返って、互いのよさを認め合うことができる。 (ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】
---------------------	--	--

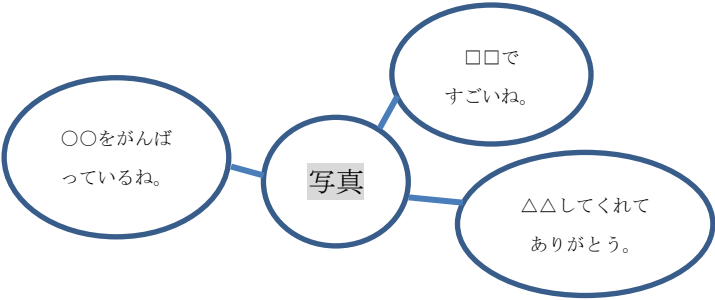
板書計画

あしたへジャンプ～2こ2こステップ1・2・3！～

㊟ 友だちの「すてき」をはっ見し、新しい自分の「すてき」に出会うことができる。

「すてき」

【 】のすてき



友だちに自分の「すてき」を見つけてもらってうれしい。
もっと自分のよさを見つけない。

参考文献

- ・朝倉 淳・永田 忠道『新しい生活科教育の創造 体験を通した資質・能力の育成』(2019) 学術図書出版社
- ・石崎 和宏・中村 和世『新・教職課程演習 第15巻』(2021) 協同出版
- ・黒上 晴夫『名探偵コナンと伸ばす考える力! 低学年』(2021) 小学館
- ・須本 良夫『生活科で子どもは何を学ぶか キーワードはカリキュラム・マネジメント』(2018) 東洋館出版社
- ・關 浩和『生活科 カリキュラム・マネジメント』(2019) ふくろう出版
- ・田村 学『イラストで見る 全単元・全時間の授業のすべて 生活小学校2年』(2020) 東洋館出版社
- ・久野 弘幸『平成 29 年度版小学校新学習指導要領ポイント総整理 生活』(2017) 東洋館出版社